

CPA 政連ニュース

日本公認会計士政治連盟

2013年4月15日
第372号

発行所
日本公認会計士政治連盟
〒102-8264
東京都千代田区九段南4-4-1
公認会計士会館
電話03-3515-1155

発行人 山崎彰三
編集人 佐藤裕紀

URL <http://www.cpa-seiren.jp>

CONTENTS

- 公認会計士、衆議院議員のご紹介
- 活動報告
 - 「おだち源亭を囲む公認会計士の会
定時総会」開催
 - 「むたい俊介君を励ます会」開催
 - 「中西けんじを囲む公認会計士の会
通常総会」開催
 - 「若松かねしげCPA元氣アップ隊」
「武見敬三を囲む公認会計士の会」
設立総会開催のご案内
- 談話室

公認会計士、衆議院議員のご紹介

第2回

新しいリレーションシップ誕生!

今回ご紹介する武村議員と古賀議員は、昨年12月に行われた第46回衆議院議員選挙において初当選された公認会計士・会計士補の国会議員です。選挙という厳しい戦いに挑み、見事議員パツチを手にした両議員に、志は何か、強みは何か、木下幹事長が伺いました。



強い日本経済を取り戻す!

武村展英 衆議院議員(自由民主党)

木下 武村議員はいつ頃から政治家になろうと思われたのですか。

武村 大学4年のときから衆議院議員の政策秘書をしていまして、二十代はずっと永田町で過ごしていました。28歳のときに私が勤めていた議員が落選して失職し、それから公認会計士試験を受けて三十代は監査法人で過ごしたんです。ですからもともと政治志向はあって、秘書をやっているうちに自分でもやってみたいと思うようになりました。

木下 監査法人には何年いらっしゃったのですか。

武村 7年間です。入所一年目から公会計部に入りましたので、公会計を7年間やっています。

木下 武村議員は「強い日本経済を取り戻す」というスローガンを上げていらっしゃいます。そのためには何が必要だとお考えですか。

武村 「財政再建」と「経済再生」です。財政再建は、税収をあげる、歳出削減、それか

ら増税の三つを同時に進める必要があります。いまの危機的な財政の状況をどう脱却していくのか、将来の道筋を明らかにしないと経済は安定して成長していかないと考えます。

経済再生についてはまずデフレからの脱却。私は学生のときから日銀の金融政策をずっと追ってきて、通常の経済理論とは異なる日銀理論が日本経済を悪い方向に向かせているのではないかと20年近く前から思っていました。徐々に量的緩和もやりましたが、十分ではなかったと思います。

木下 私も20年間アメリカにいて、アメリカから日本を見ていると需給のバランスが取れていないのが明らかなんです。アメリカと

ヨーロッパがどんどん量的緩和をして円は少ししか緩和しないわけですから、それは円高になるのは当然でした。安倍政権で日銀も政策転換して良かったと思います。これからは实体经济に結びつけていく施策が必要ですね。

武村 公共事業をやって呼び水にするのはいいですけど、永遠に続けることはできませんから、新しい施策が必要です。その中で私はリスクマネーの供給がいちばん重要だと思います。簡単に言うとファンドです。企業再生支援機構も一つのファンドですが、今回、



武村 展英 (たけむら てるひさ) 衆議院議員

昭和47年滋賀県生まれ。慶應義塾大学商学部卒。国家公務員採用1種合格。平成15年-22年新日本有限責任監査法人。建設業、航空産業、政府系金融機関等の会計監査に従事。国際公認投資アナリスト、農業経営アドバイザー。現在、衆議院経済産業委員会委員。

他にもいくつか出ていて、海外需要開拓支援機構の俗にクールジャパン法案と言われるものが、今度私が所属する衆議院の経済産業委員会にかけられます。こうしたところにリスクマネーの供給を進める。それも政府だけではなく民間にも出資してもらおうことが大事です。

木下 官民ファンドですね。

武村 そうです。民間がリスクをとれば経営もしっかりしてきますので、産官連携で投資して新しい産業をつくっていくことが重要だと思います。あと私が進めたいのは農業の輸出です。私は農林漁業金融公庫(現日本政策金融公庫農林水産事業部)の監査をずっとやっていましたので思い入れが強いんですよ。こんなこと言うと怒られますが、TPP問題とは切り離して農業を輸出産業にしたいですね。

木下 それは私も賛成です。TPPに反対しても将来はないですからね。

武村 具体的な事例としては、神戸市とOOCLジャパンという船会社が共同で個人でも輸出できる仕組みを作りました。手数料が5~7%ぐらいで物流の流れも整っているし、クレーム処理も現地をサポートします。農家の方は作ることに手一杯で、どうニーズに対応していくかという発想がまだまだないんです。ですから、そういう仕組みを利用して海外に出て行く、特にアジアの富裕層に打って出る支援をしたいと思っています。

木下 監査の経験を活かして武村議員ならではの施策ができそうですね。

武村 内閣提出法案を与党の立場からチェックをする役割が多いですが、新人議員としても仕事はしっかりしていきたいので、議員立法をたくさん出していきたいと思っています。

木下 具体的なプランがありますか。

武村 いまのところ事務局を3つ預かるこ

とになっています。一つは地元、滋賀県の琵琶湖再生法です。琵琶湖の水質が改善されていけませんので、再生計画を作って財政支援ができる仕組みを作ります。もう一つは金融機関の休眠口座というのがあって、いまは10年経過した時点で雑益に入っていますが、イギリスや韓国ではそうした金額を貧困対策に使う仕組みを作っているんです。

木下 それはいいですね。100円とか1000円とか本人も忘れてしまっているものがたくさんありますよね。

武村 そうなんです。それを公共の施策に使えるように、任期のあいだに法案化したいと思っています。あとは年金記録問題の後始末です。年金記録問題も休眠口座の話も、実務的な面では公認会計士がとても役立つと思うんですよ。

木下 いろいろなプランをお持ちで我々にもお手伝いできることがありそうですね。ぜひ一緒に進めていきましょう。